

「第三期 RIETI PC-LANシステム」意見招請結果に対する回答

資料名	頁	項番号	項目	項目名等 (具体的箇所)	意見	意見の趣旨	回答
1 調達仕様書(案)	3	5	作業スケジュール	【留意事項】 (前略) 瑕疵担保期間にあたるため、(中略) 保守の対応は平成24年10月以降となる。	瑕疵期間と保守期間の具体的差異につきご教示ください。	瑕疵期間中は瑕疵対応のみで、運用サポートは不要のようにも理解できます。	システム保守業務の内容は大別して「定常保守」と「障害対応」に区分できるものと考えています。前者はシステム運用開始後より適用されますが、後者については瑕疵担保期間(検収後1年間)においては瑕疵として対応いただくもの(当研究所として費用を考慮しないもの)と考えています。
2 調達仕様書(案)	4	6.1	共同事業体(JV)による提案		JVに限らず、役割分担を明確にしたコンソーシアム(企業連合)も認められる記載内容にしていただきたい。	JVとは国土交通省が通達で定める「ジョイントベンチャー」を指すことが一般的です。国土交通省通達に従えば、JVを組成することは民法上の組合を結成することと同義になります。この場合、JVを組成する構成員は出資を行う必要や利益分配を行う必要があります。本調達はJVのように構成員が混然一体となって実施する案件ではなく、各構成員がそれぞれの役割を明確にした対応をさせていただくものではありませんが、利益分配という概念は持ちません。したがって、JVを組成して入札参加することは実務に合致しないものとなります。	ご意見を参考に、現行調達仕様書の一部を変更いたします。
3 調達仕様書(案)	5	7.1	プロジェクトルームの設置	1行目	プロジェクトルームにて業務に従事することと記載がありますが、実現可能な業者を大きく絞る形になるのではないのでしょうか。	建物自体にセキュリティチェックの仕組みがあり、プロジェクト参画メンバーに限りアクセス可能なデータ保存領域を提供すれば、セキュリティが保たれるとともに、より多くの業者が入札に参画できる機会が増えると考えます。	ご意見を参考に、現行調達仕様書の一部を変更いたします。
4 調達仕様書(案)	7	10	請負者の条件	入札参加資格「情報処理」、「賃貸借」を有している者であること。	「情報処理」、「賃貸借」とあるが、2つの営業品目を登録している必要があるのか、どちらかの営業品目の登録があれば良いのかどちらかが明記していただきたい。	2つの品目を登録している及び事業としている企業は限られるものと思われず。	ご意見を参考に、現行調達仕様書の一部を変更いたします。
5 調達仕様書(案)	7	10	請負者の条件	入札参加資格「情報処理」、「賃貸借」を有している者であること。	2つの営業品目の登録が必要であり、企業連合で入札に参加する場合、企業連合として「情報処理」を有している事業者と「賃貸借」を有している事業者で結成されれば参加資格を満たすという記載内容にしていただきたい。	2つの品目を登録している及び事業としている企業は限られるものと思われず。	ご意見を参考に、現行調達仕様書の一部を変更いたします。
6 調達仕様書(案)	7	10	請負者の条件	(前略)「情報処理」、「賃貸借」の営業品目を有している者であること。	役務の提供のA.B.Cに加え、営業品目として「情報処理」、「賃貸借」が必要とされていますが、営業品目の限定を外していただきたいと考えます。	今回の調達には、SaaSによる情報処理も一部含まれていますが、全体ではシステム構築や物品提供等多岐にわたっていると考えられます。全ての営業品目を条件とすると、満たすことのできる事業者は限られるものと思われず。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
7 別紙1 要件定義書(案)	8	2.5	第三期RIETI PC-LANの全体構成	(3)	「この調査結果を踏まえ、今回の調達に置いては～」と記載がありますが、機能の廃止や改善に関する検討を行う要件の記載がございません。これらの情報の開示タイミング、開示内容につきまして、明確に記載を頂けずでしょうか。	調査結果により作業が変更となる場合、必要となる工数やハードウェア見積もり、ソフトウェア見積もりにも差異が生じるためです。	事前調査の結果を反映したものが、今回の調達内容となっておりますので、請負者における機能の廃止や改善に関する検討は不要です。
8 別紙1 要件定義書(案)	9	2.7	システム構築及び移行に係るスケジュール	【留意事項】	最も遅い状況を想定とありますが、並行運用期間や完全切り替え時期も提案によるという理解でよろしいでしょうか。また、「余裕を持った確保」とは、具体的に何を指しているか、ご教示願います。	期間の明確化のため、ご確認をお願いします。	システム切り替え時期については平成23年9月1日以降とならないことが条件です。その他のスケジュールは提案によります。「余裕を持った運用期間の確保」とは14日以上並行運用期間の確保することです。
9 別紙1 要件定義書(案)	9	2.8	納入成果物	納品期日	上記と関連して、並行運用開始日が早まった場合、納品期日も早まると考えてよろしいでしょうか。	納期の明確化のため、ご確認をお願いします。	御理解の通りです。
10 別紙1 要件定義書(案)	10	2.8	納入成果物	(4)ドキュメント類	ソフトウェア保守手順書について、貴研究所にてご準備頂くソフトウェアについては、対象外の認識でよろしいでしょうか。作成する手順書や設計書の範囲を明確に記載頂けずでしょうか。	作業工数、ドキュメントの精度を確認するために必要と考えます。	原則として含まれませんが、システム運用保守の一環(関連ソフトウェア)として含まれるものについては対応いたします。(例: キッチングディスクの作成手順、クライアントソフトのアップデート手順等)
11 別紙1 要件定義書(案)	12	3.3	導入要件	「2.7 システム構築及び移行に係るスケジュール」で定める期日に全て利用可能な状態にすること。	「2.7 システム構築及び移行に係るスケジュールで定める期日」、というのは具体的に平成23年9月1日という理解でよろしいでしょうか。	納期の明確化のため、ご確認をお願いします。	御理解の通りです。
12 別紙1 要件定義書(案)	13	4.2	性能要件	記載なし	ハードウェアスペックの算出にあたり、正確かつ効果的な仮定化を行うことを想定し、仮定化アセスメントの実施を要件に含むべきと考えます。	アセスメントを行わない場合、システム導入時に予測しているレスポンスが発生しないなどの恐れがあります。	仮定化によるシステム構築は必須とはしていないため、応札者が必要に応じて実施いただく事項(提案事項)と考えます。

	資料名	頁	項番号	項目	項目名等 (具体的箇所)	意見	意見の趣旨	回答
13	別紙1 要件定義書(案)	13	4.2	性能要件	記載なし	仮想化が効果的なソフトウェア、仮想化を行うと逆に不安定となるソフトウェア、仮想化サポートされていないソフトウェアがございます。仮想化対象サーバの選定は、仮想化アセスメント実施を踏まえた形で検討すべきと考えます。	アセスメントを行う、行わないにより、作業工数が大きく異なることとなります。品質を一定にする意味でも、記載を追記すべきと考えます。	仮想化によるシステム構築は必須とはしていないため、応札者が必要に応じて実施いただく事項(提案事項)と考えます。
14	別紙1 要件定義書(案)	14	5.3(3)	拡張性要件	(3)(前略)56か月間の運用することを想定すること。	今回調達の実質借期間は56か月と考えてよろしいでしょうか。	期間の明確化のため、ご確認をお願いします。	平成23年8月期は並行運用期間として想定しているため、賃貸借期間として定める期間は、平成23年9月～平成28年3月までの55ヶ月間となります。
15	別紙1 要件定義書(案)	14	5.6	事業継続性要件	5行目	バックアップデータの別拠点保管に関する記載がありますが、バックアップデータの別拠点に関する要件の記載がございません。別途データセンターをご準備すべきか、回線はどの程度とするか等、具体的な要件の記載をお願い致します。	バックアップデータの別拠点保管について、必要となる品質が不明です。品質を一定にする意味でも、入札の公平性を確保する意味でも、記載を追記すべきと考えます。	バックアップについては要件定義書に記載する以上の要件はないため、ここに定める条件以外については、応札者の提案内容によります。
16	別紙1 要件定義書(案)	16	6.3.2	ウィルス対策	(1)各システムには、(後略)	「各システムには、」とありますが、第三期RIETI PC-LAN以外を対象となるシステムをご教示ください。	基本的には、別システムの機能要件は除外すべきと考えます。	第三期RIETI PC-LAN以外を対象となるシステムはございません。
17	別紙1 要件定義書(案)	16	6.3.4	セキュリティ監視	第三期RIETI PC-LANに設置されるファイアウォール及びIPS等を監視し(後略)	「第三期RIETI PC-LANに設置されるファイアウォール及びIPS等を監視し」とありますが、ファイアウォール及びIPSは必要な機器・サービスとして明記されていないため、要件があいまいと考えます。	要件の明確化が必要と考えます。	ご意見を参考に修正いたします。
18	別紙1 要件定義書(案)	17	7.1	全体構成	1行目	クラウドサービスによるメール、グループウェアの利用を前提とする記載がありますが、新データセンターにメール、グループウェアサーバを設置することはクラウドサービスを利用することとして認識してよろしいでしょうか。 17.3クラウド等によりシステムを構築する場合の要件」という記載は、クラウドが必須ではないと判断出来ると考えます。	記載の統一をお願い致します。	当研究所で想定しているクラウドサービスはいわゆる「パブリッククラウド」と呼ばれているものであり、当研究所の新データセンターシステムを構築するもの(プライベートクラウド)は、本調達においてはクラウドサービスとしてはみなしません。
19	別紙1 要件定義書(案)	18	7.3	クラウド等によりシステムを構築する場合の要件	クラウド等	「クラウド等」となっておりますが、本項で対象とするシステム形態はクラウドとSaaSのみと考えてよろしいでしょうか。	「クラウド等」の意味があいまいと考えます。	SaaSのみとは限りません。
20	別紙1 要件定義書(案)	18	7.3(2)④	クラウド等によりシステムを構築する場合の要件	(2) 設備要件 ④(前略)データセンター自身の冗長化が図られていること。	要件定義書(案)9ページ「2.6作業内容」の【作業内容に係る留意事項】に記載されている「ハウジング形態によるシステム構築」に関しても、本要件は適用され、地理的に離れた2か所のデータセンターで各×2の設備をホスティングするかと考えてよろしいでしょうか。	データセンターの要求仕様も一般的には高い要求と思われ、さらにそれを2か所で運用するのは、コスト増になると考えます。	当該要件はクラウドサービス(パブリッククラウド)によるサービス提供時の設備要件であるため、「ハウジング形態によるシステム構築」に係る要件には適用されません。
21	別紙1 要件定義書(案)	18	7.3	クラウド等によりシステムを構築する場合の要件	(3)⑤	各サービスの定義があいまいでは無いですか。どのデータに対して、どの対策を講じるかを明確にしなければ、すべてのデータに対してありとあらゆる対策をする必要があるように捉える可能性がございます。	記載内容の詳細化をお願い致します。	ご意見を参考に修正いたします。
22	別紙1 要件定義書(案)	18	7.3	クラウド等によりシステムを構築する場合の要件	(3)⑥	SAS70 Type IIについて、異なるセキュリティ保証基準を比べる事は難しく考えますので、同等以上のセキュリティ監査基準を明確に記載頂きますでしょうか。	SAS 70の適用が必要になるのは、米国に上場している荷主の業務を受託している場合のみとなりますので、入札の公平性にも大きな障壁となるかと想定されます。記載の必要性を含めご検討を頂きますでしょうか。	ご意見を参考に修正いたします。
23	別紙1 要件定義書(案)	20	7.4	ハードウェア構成	(2)イ	SAS70 Type IIについて、異なるセキュリティ保証基準を比べる事は難しく考えますので、同等以上のセキュリティ監査基準を明確に記載頂きますでしょうか。	SAS 70の適用が必要になるのは、米国に上場している荷主の業務を受託している場合のみとなりますので、入札の公平性にも大きな障壁となるかと想定されます。記載の必要性を含めご検討を頂きますでしょうか。	ご意見を参考に修正いたします。
24	別紙1 要件定義書(案)	20	7.4(2)	クライアントPC及び周辺機器	イ.クライアント要件	クライアントPCについては設置まで含むという認識で宜しいでしょうか。その場合、設置に必要なケーブルについて敷設の要否の記載が無いためご教示下さい。	LANケーブル等の敷設が必要である場合、入札金額に含む必要があるため。	クライアントPCの設置まで含みます。また設置に必要なケーブルの敷設も必要です。
25	別紙1 要件定義書(案)	21	7.4(3)	OA機器	ア.基本要件	OA機器については設置まで含むという認識で宜しいでしょうか。その場合、設置に必要なケーブルについて敷設の要否の記載が無いためご教示下さい。	LANケーブル等の敷設が必要である場合、入札金額に含む必要があるため。	OA機器の設置まで含みます。また設置に必要なケーブルの敷設も必要です。

	資料名	頁	項番号	項目	項目名等 (具体的箇所)	意見	意見の趣旨	回答
26	別紙1 要件定義書(案)	21	7.4.(3)7	基本要件	項目の追加	OA機器に必要なトナーは、ネットワーク監視等により、RIETI職員様が連絡することなく、自動的に配送する仕組みを推奨いたします。	RIETI職員様におけるトナーの管理業務を削除し、本来業務へ集中していただくとともに、トナー切れによるOA機器のダウンタイムをなくす仕組みを提案いたします。	ご意見を参考に一部修正いたします。
27	別紙1 要件定義書(案)	21	7.4.(3)7 (2)	基本要件	環境負荷の削減	OA機器については、両面機能や集約機能の利用率、両面・集約機能の利用による用紙削減効果(試算値)、消費電力量や機器使用時のCO2排出量(試算値)の月次レポートを提出させることを推奨いたします。	ライフサイクル全般で環境負荷の削減を実現するためには、実状や課題を確認・把握できるデータ(レポート)が不可欠であると考えます。また、RIETI職員様の業務負荷を考慮し、データ作成は請負者による作業とすることを提案いたします。	ご意見を参考に一部修正いたします。
28	別紙1 要件定義書(案)	22	イ(32)	カラー複合機(その1)	「20グループ以上のカラー別コピー枚数・カラー別プリント枚数の集計が行えること。」とありますが、グループ別のコピー利用を集計するためにはグループごとのパスワード認証もしくはICカードなどによる認証が必要となります。想定されている方式を仕様にて明記をお願いします。	どのような方式を想定されているのかを確認するため。	ご意見を参考に修正いたします。	
29	別紙1 要件定義書(案)	25	7.4.(3)エ (6)	モノクロ複合機(その2)	ファクシミリ機能について	ファクシミリ送信時には、メモリー送信と直接送信をワンタッチで選択可能であることを推奨いたします。	急いで原稿を持ち帰りたいときや同じ原稿を複数の相手先に送信する際にはメモリー送信、確実に相手先に送信したいときは(相手先に回線が繋がってから送信する)直接送信と、目的によってワンタッチで切り替えることができると、ファクシミリ送信が非常に効率的に行えます。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
30	別紙1 要件定義書(案)	25	7.4.(3)エ (7)	モノクロ複合機(その2)	クライアントPCからの直接ファクシミリ送信について	クライアントPCからファクシミリ送信をする際、プレビュー画面にて送信画面を事前に確認できる機能を推奨いたします。	誤送信による情報漏えいのリスクを低減し、また送信データの不備によるファクシミリの再送信の手間を省くためにも必須の機能です。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
31	別紙1 要件定義書(案)	25	7.4.(3)イ (4)	モノクロ複合機(その3)	出力先(ソータ)について	出力先(ソータ)は9つ以上振り分けられる機能を有することを推奨いたします。	振り分け先を9つ以上有することで、研究員の方それぞれの出力物の混在による紛失のリスクを軽減することができます。認証の操作も不要なため、煩わしさも発生いたしません。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
32	別紙1 要件定義書(案)	25	7.4.(3)カ (10)	カラープリンタ(その1)	両面速度について	カラープリンタの連続プリント速度は、A4横にて片面・両面ともに毎分40ページ以上とすることを推奨いたします。	環境配慮の観点から、文書は両面印刷を標準として想定いたします。つきましては、両面印刷速度が遅いと業務が停滞するおそれがあるため、最低でも毎分40枚以上の速度は必要です。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
33	別紙1 要件定義書(案)	27	7.4(4)	ネットワーク関連機器	イ. 機器共通要件	スイッチハブや小型スイッチングハブについては、設置まで含むという認識で宜しいでしょうか。その場合、設置に必要なケーブルについて敷設の要否の記載が無いためご教示下さい。	LANケーブル等の敷設が必要である場合、入札金額に含む必要があるため。	各ネットワーク機器の設置まで含みます。また設置に必要なケーブルの敷設も必要です。
34	別紙1 要件定義書(案)	27	7.4(4)	ネットワーク関連機器	イ. 機器共通要件	要件にIPv6対応、SNMPエージェント機能のサポート、時刻同期機能、DHCPリレーなどの機能が記載されていますが、スイッチングハブや小型スイッチングハブでも必須でしょうか。	機器選定が困難になると思われます。	スイッチングハブや小型スイッチングハブについては必要ありません。
35	別紙1 要件定義書(案)	28	7.4	ハードウェア構成	カ(6)	音声系の帯域を制御する機能を有することありますが、IP電話に関するシステム要件やサーバ要件等の情報がございません。データセンター内にIP電話に関するどういったシステムを配置するかを含め、必要情報の追記をお願い致します。	未要件を明確に記載しない場合、現行ベンダーに入札が有利になることが想定されます。入札の公平性を保つために、記載の追記をお願い致します。	ご意見を参考に修正いたします。
36	別紙1 要件定義書(案)	28	7.4(4)	ネットワーク関連機器	キ. スwitchングハブ要件	機器台数の記載がありません。	必要数のご提示をお願いします。	調達仕様書の参考資料としてフロアレイアウト(簡易図)と、各拠点の在席数が分かる資料を提示予定ですので、提案いただく機器構成をもとに台数を算出下さい。
37	別紙1 要件定義書(案)	29	7.4(4)	ネットワーク関連機器	ク. 小型スイッチングハブ要件	機器台数の記載がありません。	必要数のご提示をお願いします。	調達仕様書の参考資料としてフロアレイアウト(簡易図)と、各拠点の在席数が分かる資料を提示予定ですので、提案いただく機器構成をもとに台数を算出下さい。
38	別紙1 要件定義書(案)	33	7.6.2.	接続要件	(2)RIETI本部と新データセンターの接続要件	IP電話については、回線品質の保証のみで、ネットワーク構成の考慮は不要でしょうか。	IP電話に関する他の要件があれば記載ください。	ご意見を参考に一部修正いたします。

	資料名	頁	項番号	項目	項目名等 (具体的箇所)	意見	意見の趣旨	回答
39	別紙1 要件定義書(案)	33	7.6.2	接続要件	(2)②	DNSサービスを提供することの記載がありますが、具体的にどの範囲まで提供すればよろしいでしょうか。 ドメインの移管を行う必要があるか、DNSサーバのレコードのみ持てばよいのかについて、記載をお願い致します。	作業工数算出の公平性を保つためです。	ドメインの移管までを想定しています。
40	別紙1 要件定義書(案)	33	7.6.2	接続要件	(4)⑤	IPアドレス体系について、現行IPアドレスと重複せずに共存できるIPアドレス体系を設けると記載がありますが、サーバのIPアドレスは現行から変更になる認識でよろしいでしょうか。 また、サーバのIPアドレス変更に伴うクライアント側での設定変更やユーザアウンスについては、貴研究所にて実施する認識でよろしいでしょうか。	サーバのIPアドレスが、変わる変わらないにより、システムの移行方法が大きく異なる形になります。 明確に記載をお願い致します。	御理解の通りです。 なお、サーバのIPアドレス変更に伴うクライアント側での設定変更は発生しないと想定していますが、もし必要な場合のユーザアウンスについては当研究所で実施します。
41	別紙1 要件定義書(案)	33	7.6.2	接続要件	(5)IPアドレス体系 ①ネットワーク機器、サーバ及びクライアントの(後略)	①で「ネットワーク機器、サーバ及びクライアントのIPアドレスについては」とありますが、ネットワーク機器、サーバのIPアドレスも検疫VLAN機能により任意に払い出す理由をご教示ください。	ネットワーク機器は固定IPが必須と考えます。 サーバは新データセンター内でクライアントとは別セグメントにあるため、固定IPで十分と考えます。	ご意見を参考に修正いたします。
42	別紙1 要件定義書(案)	33	7.6.2	接続要件	(5)IPアドレス体系 ①ネットワーク機器、サーバ及びクライアントの(後略)	①で「検疫VLAN機能により任意に払い出す」とありますが、検疫VLAN機能である必要は無く、任意にIPアドレスを払い出す仕組みであれば十分と考えます。	検疫VLAN機能を有することは必須要件では無いと考えます。	ご意見を参考に修正いたします。
43	別紙1 要件定義書(案)	34	7.6.2	接続要件	(6)IPv6対応方針	公開用WWWサーバをIPv6で接続の必要があるのでしょうか。	現在IPv4が主流でIPv6への移行も進んでいないため、IPv6の導入は不要と考えます。	ご意見を参考に一部修正いたします。
44	別紙1 要件定義書(案)	36	9.2	移行に係る個別要件	(9)	WWW系サーバで動作しているアプリケーションや、システムの内容につきましては、導入されているベンダー様でしか存じ上げないことと思えます。 BBLセミナー管理システム同様、保守請負者が第三期RIETI PC-LANへの移行及び動作確認までを実施することとして、記載修正をご検討頂けますでしょうか。	本要件を明確に記載しない場合、現行ベンダーに入札が有利になることが想定されます。 入札の公平性を保つために、記載の追記をお願い致します。	ご意見を参考に一部修正いたします。
45	別紙1 要件定義書(案)	38	10	運用及びシステム保守要件定義	全般	全般にデータセンターでの運用と、本部(別館/分室)での運用の要件定義が不明確と思われます。	データセンターでの運用サービスと本部常駐でのサービス範囲の明確化が必要と考えます。	参考資料5で定める管理指標を遵守可能とする運用体制を御提案下さい。
46	別紙1 要件定義書(案)	38	10.1	基本要件	(4)	新データセンターにおける各種手順書作成について、今回のシステム移行のみを対象範囲とする認識でよろしいでしょうか。 将来的に追加するサーバにつきましては、対象外または別途契約の記載追記をご検討頂けますでしょうか。	作業範囲を明確にするためです。	御理解の通りです。
47	別紙1 要件定義書(案)	38	10.1	基本要件	(5)	緊急連絡体制の責任者について、一般的にデータセンター側でアラートを発信し、原則的にお客様に通報をさせて頂く形になると想定されます。 受注業者に課せられる責任範囲につきまして、明確に記載をお願い致します。	責任範囲を明確にするためです。	ご意見を参考に修正いたします。
48	別紙1 要件定義書(案)	38	10.1	基本要件	(6)	運用・保守業務支援ツールについて、これを運用するためのドキュメント作成や、ツールの要件について明確に記載を頂けますでしょうか。	現状の運用レベルは、現行ベンダーにしか情報が無いと想定されます。入札の公平性ならびに品質の一定性を保つために、記載の追記をお願い致します。	参考資料5で定める管理指標を遵守可能とする運用・保守業務支援ツールを御提案下さい。
49	別紙1 要件定義書(案)	38	10.1	基本要件	(6)(前略)当該ツールの環境は、RIETI本部常駐作業員をはじめ当研究所へ常駐するRIETIヘルプデスク担当やRIETI情報G担当者とも共有可能であることが望ましい。	ご提案のデータセンターで使用する運用・保守ツールとは別に、貴所でも情報を共有できる手段をご提供することで、要件を満たすと考えてよろしいでしょうか。	運用・保守ツールはデータセンター全般に使用するものであり、セキュリティ上、ツール環境の共有化は不可能となっております。	情報を共有する目的は障害発生時等のインシデント状況や対応状況等を遅滞無く(リアルタイムに)把握可能なことにあるため、時間差なく情報の共有が可能であればその実現方法は問いません。
50	別紙1 要件定義書(案)	38	10.2	システム監視要件	記載なし	システム監視要件について、落札後の要件不適合が発生しないよう、想定している監視のご要件を記載頂けますでしょうか。 落札業者が対応可能な範囲内で監視要件を検討する場合は、その旨の記載をお願い致します。	作業範囲、ならびに対応可否の検討を行うためです。	ご意見を参考に修正いたします。

	資料名	頁	項番号	項目	項目名等 (具体的箇所)	意見	意見の趣旨	回答
51	別紙1 要件定義書(案)	38	10.2	システム監視要件	記載なし	システムの監視を行うに当たり、データセンター側の監視ネットワークに接続する必要があると考えます。 この際、既存のIPアドレス体系を保持するためにNAT変換をすると、一部の性能監視が出来なくなるケースが多くあるため、新規に監視用のIPアドレスを割り当ててを許諾頂きますよう、記載の追加をお願い致します。	データセンター要件の公平性を保つためです。	応札者の提案の範囲と考えます。
52	別紙1 要件定義書(案)	39	10.3.2	システム運用手順書に基づいた定常時のシステム管理作業	(1)	現状のシステム運用手順書を落札業者に開示頂くことは可能でしょうか。 可能な場合は開示可能な旨の記載をお願い致します。	システム運用手順の粒度を下げないようにするためです。	入札公告後、入札参加表明を提出した応募予定者に対し、一部の現行システムに係るドキュメントを当研究所内で閲覧可能とする予定です。
53	別紙1 要件定義書(案)	40	10.3.5	RIETIヘルプデスク担当業務支援	(1)	ヘルプデスク担当者不在時の対応を受注業者にて行う場合、常駐作業員が本来行うべき業務に支障が出る可能性があります。 この場合、ご提示頂いているSLAを厳守することが難しいため、このケースにおけるSLAや、並行して担当する場合の優先順位についての記載をお願い致します。	作業範囲、ならびに対応可否の検討を行うためです。	ヘルプデスク担当者不在時においても、常駐作業員が本来行うべき業務が発生した場合は後者作業が優先となります。
54	別紙1 要件定義書(案)	41	10.5.1	運用施設・設備要件 新データセンター	(2)耐震・免震対策 ①(前略)、倒壊及び崩壊しないことを保証すること。 ②(前略)、倒壊しないことを保証すること。	保証では無く、設計値(仕様)で記載いただきますようお願い致します。	より客観的な仕様により調達率の公平化が図れると考えます。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
55	別紙1 要件定義書(案)	41	10.5.1	運用施設・設備要件 新データセンター	(2)耐震・免震対策 ③無窓構造または同等の対策を講じること。	削除願います。	上記の設計値の提示で、耐震、免震の仕様は示されると考えます。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
56	別紙1 要件定義書(案)	41	10.5.1	運用施設・設備要件 新データセンター	(3)電源設備 ①2系統以上の受電系統または、(後略)	ご要求仕様の②に記載の自家発電設備及びUPS(冗長化)の備えが満たされている場合、左記仕様は満たさなくても宜しいでしょうか。	停電対策として①、②のどちらかを満たせば十分と考えます。	ご意見を参考に一部修正いたします。
57	別紙1 要件定義書(案)	41	10.5.1	運用施設・設備要件 新データセンター	(7)機器設置区域 ②機器設置区域の1㎡当たりの床耐荷重は、スラブ部で725kg以上、フリーアクセス部で500kg以上であること。	左記の仕様にて、「または、ラックのサーバ積載最大「400kg以上/ラック」であることを追加願います。	今回仕様は機器のハウジングであり、ラック1台あたりの機器積載重量も有効な指標と考えます。	ご意見のとおり修正いたします。
58	別紙1 要件定義書(案)	42	10.5.3	セキュリティ要件	(1)建物・マシン室・ラック③	新データセンターの本人認証について、データセンター側の運用として、ICカードはデータセンター側で逐次貸し出すケースがございます。こういった場合、生体認証登録を行うことは難しく考えます。	新データセンターの本人認証が出来る仕組みがあること、新データセンターへの入館に限られたものであることを証明できれば、ご要件に合うことと思いますので、記載内容のご検討をお願い致します。	本仕様書では、ICカードを入館登録者毎に管理せず無作為に入館者へ貸し出すカードとして運用する形態を想定していません。 バイオメトリクス(生体)認証による本人確認は本人確認手段の1つとして示したものであり、有人(データセンター管理者)による本人確認(顔写真入り公的証明書との照合等)など、確実に入館者を確認可能とする仕組みであればこの限りではありません。
59	別紙1 要件定義書(案)	43	10.9	OA機器等保守要件	項目の追加	OA機器については、インターネット回線を使用してのネットワーク遠隔保守を実施することを推奨いたします。	ネットワーク遠隔保守を実施することでリアルタイムな機器の状況監視が可能になるため、故障の未然防止がはかれます。 また、トラブルの内容・原因を保守担当エンジニアが訪問前に把握できますので、迅速かつ的確な保守サービスの提供によるダウンタイムの軽減が可能になります。	ご意見を参考に一部修正いたします。
60	別紙1 要件定義書(案)	43	10.9	OA機器等保守要件	障害時の対応時間について	OA機器については、開所日の午後9時まではエンジニアの訪問による対応を実施することを推奨いたします。	通常業務時間後に大量の複写や印刷等を行うことを鑑み、通常業務時間外の保守対応を行うことでRIETI職員様の満足度を向上させることができると考えます。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
61	別紙1 要件定義書(案)	43	10.9	OA機器等保守要件	消耗品の供給について	OA機器については、用紙及びスティابلを除く消耗品・交換部品は全て保守に含まれるものとし、別途調達の必要はないものとするを推奨いたします。	各OA機器の消耗品管理業務の負荷を大幅に減らすことで、本来業務へ集中していただくとともに、消耗品切れによるOA機器のダウンタイムをなくす仕組みを提案いたします。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
62	別紙1 要件定義書(案)	44	11.1	システム構築期間に係る体制	(3)	プロジェクトリーダーまたはプロジェクトサブリーダーがシステム構築期間中に常に貴研究所からの連絡に対応可能なこととの記載がありますが、平日夜間や休日については、対応できないケースがあることと思えます。 対応が必須となる時間についての記載、ならびにコールバック対応のSLAについて記載をお願いできますでしょうか。	対応可否の検討を行うためです。	システム構築スケジュールが当初提案のスケジュールに対し遅延している場合は、平日夜間や休日においても対応を求める場合があります。 またシステム構築期間においては、SLAを定めておりません。

	資料名	頁	項番号	項目	項目名等 (具体的箇所)	意見	意見の趣旨	回答
63	別紙1 要件定義書(案)	44	11.1	システム構築期間に係る体制	(5)	プロジェクト進捗状況・成果物の共有が可能な仕組みにつきまして、受託者と貴研究所間のセキュリティを十分に保つシステムをご準備する必要があります。	本要件の実現は難しく、かつ入札の公平性を欠くこととなりますので、定例会の開催や成果物の提出手段について、物理的に行うことも可能として記載頂きますよう、検討をお願い致します。	システム構築期間においては設計書類や手順書類のドキュメントのレビューや内容の修正作業(改版)が相当な回数で行われることを見込んでおり、応札者のみならず当研究所の効率的な作業実施のためにも、オンラインで作成ドキュメント類の共有を可能とする仕組み(セキュアなインターネットファイル共有を可能とする仕組み)が必須であると考えます。
64	別紙1 要件定義書(案)	46	12.1	セキュリティGWサービス	(2)④	利用者ごとにカスタムブラックリスト、ホワイトリストの設定が可能との記載がありますが、セキュリティ上、利用者がメールセキュリティシステムの管理権限を持つことはセキュリティ強度を低くしてしまうリスクがあると考えます。この点については、管理者やヘルプデスクにて実施することとして、記載の修正の検討をお願い致します。	セキュリティリスクを防ぐためです。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
65	別紙1 要件定義書(案)	47	12.5	グループウェアサービス	(3参考資料7に記す要求機能を(後略)	「要求機能単位でユーザインタフェースが独立しないこと」とありますが、その必要性をご教授ください。また、ユーザインタフェースが2つもしくは3つ程度の場合は、要件を満たすと考えてよろしいでしょうか。	インタフェースが複数に分かれていたとしても、利便性への影響は少ないと考えます。	利用者の利便性(操作性)を損なわないためにユーザインタフェースが独立しないことを要件としています。ユーザインタフェースが複数となる場合は、その相互にハイパーリンクがあり、ブラウザタブの切り替え等により利用可能であるレベルであれば問題ないと考えます。
66	別紙1 要件定義書(案)	53	12.19	SANスイッチ	(1)主要サーバ間とディスクアレイ装置は(後略)	「主要サーバ間」とありますが、主要サーバとは、要件定義内でSANスイッチに接続可能とすることと記載のあるサーバと考えてよろしいでしょうか。	接続するサーバ数によりSANスイッチの機種選定に影響があるため、確認させていただきます。	御理解の通りです。
67	別紙1 要件定義書(案)	54	12.21	ファイルサーバ	④	プリンタドライバの配布及びスプールしながらの印刷を行える要件がございますが、ファイルサーバの容量が大きいため、通常のWindowsではなく、NASなどの専用装置を導入することで、ファイルサーバの可用性や拡張性を高めることが可能となります。また、バックアップや復旧対応も高速となりますので、NASでのご導入もご検討ください。	ファイルサーバの可用性を高め、バックアップの短時間化を図るためです。	応札者の提案の範囲と考えます。
68	別紙1 要件定義書(案)	-	-	-	-	バックアップに関する要件の記載がございません。データバックアップや、システムイメージバックアップ等、必要となるバックアップ毎に要件の記載をお願い致します。	作業範囲の明確化のためです。	ご意見を参考に一部修正いたします。
69	参考資料4. 現行システム一覧	-	-	-	-	パッケージソフトウェアではなく、独自開発しているシステムがあれば、どのサーバがそれに該当するか情報提供をお願い致します。	開発工数を算出するためです。	以下の3システムが現行RIETI PC-LANにおける独自開発システムとなります。 ・ 在庫管理システム ・ BBLセミナー管理システム(WWW開発サーバ内) ・ 研究DBシステム(※調達仕様書で追記予定)
70	参考資料5. 管理指標一覧	3	(1)表3-3	クライアントPCIに係る機器故障対応に関する表	最低保証値	クライアントPCIに係る故障対応について、複数の対応を並行して行う必要がある場合や、故障機の設置先が別棟にある場合など、実機交換を行う場合は30分では現実的に交換対応が難しく思います。適切な数値への見直しをお願い致します。	対応可否の検討を行うためです。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。機器故障時の代替機を確保する等の手段により、要求保証値を遵守する提案を御願致します。
71	参考資料5. 管理指標一覧	3	(1)表3-4	システムに関する障害対応に関する表	最低保証値	システムに関する障害対応に関する表について、システム復旧は具体的にどういった手法をお考えでしょうか。また、システムイメージからの復旧や、ハードウェア障害の場合は、記載の時間では対応することが出来ないと思えます。こちらにつきまして、適切な数値への見直しをお願い致します。	対応可否の検討を行うためです。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。機器故障時の代替機を確保する等の手段により、要求保証値を遵守する提案を御願致します。
72	参考資料5. 管理指標一覧	3	(2)表3-5	システム運用に関する表	最低保証値	作業到着時間について、サーバがデータセンターに配置されておりますので、入館手続きを含めて1時間での到着は難しく思います。こちらにつきまして、適切な数値への見直しをお願い致します。	対応可否の検討を行うためです。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。データセンター付近に作業者の拠点を確保する、または作業者の拠点から1時間以内に到着可能なデータセンターを提案する等、要求保証値を遵守する提案を御願致します。

資料名	頁	項番号	項目	項目名等 (具体的箇所)	意見	意見の趣旨	回答
73 参考資料5. 管理指標一覧	3	(2)表3-5	システム運用に関する表	最低保証値	ご要求仕様の「保証値」について、「目標値」に緩和願います。	障害の内容、状況等が想定できず、保証は困難です。 適合するデータセンターの範囲拡大のため仕様緩和願います。	ご意見のとおり修正いたします。
74 参考資料5. 管理指標一覧	3	(3)表3-6	インターネット接続に関わる管理項目	サービス稼働率	インターネット接続回線のサービス稼働率について、「または、保証値99.9%と冗長化構成(マルチキャリア/マルチホーム)を組み合わせて相当とする」を記載いただきますようお願いいたします。 DNS、メールレーのサービス稼働率について、「または、サーバとLANを冗長化することで相当とする」を記載いただきますようお願いいたします	適合するデータセンターの範囲拡大のため仕様緩和願います。	ご意見を参考に一部修正いたします。
75 参考資料5. 管理指標一覧	3	(3)表3-6	インターネット接続に関わる管理項目	最低保証値	ご要求仕様の「保証値」について、「目標値」に緩和願います。	障害の内容、状況等が想定できず、保証は困難です。 適合するデータセンターの範囲拡大のため仕様緩和願います。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
76 参考資料5. 管理指標一覧	3	(4)表3-7	ネットワーク回線に関わる管理項目	最低保証値	ご要求仕様の「保証値」について、「目標値」に緩和願います。	障害の内容、状況等が想定できず、保証は困難です。 適合する回線の範囲拡大のため仕様緩和願います。	ご意見として承りましたが現行仕様書のとおりとします。
77 参考資料7. グループウェアに係る要求要件(案)	1	(3)	基本機能要件	1. 認証機能	Microsoft社と異なるベンダーのSaaSサービスを利用する場合、Windowsネットワーク環境とのシングルサインオンを実現するために追加コストが発生することが想定されます。他ベンダーのSaaSサービス利用を容易にするため、「Active Directoryとのシングルサインオン」という条件を「Active Directoryとのアカウント同期を可能とし、同一のパスワードによる認証を可能とすること」という条件に変更いただくことを推奨いたします。	条件を緩和いただくことにより、Microsoft以外のベンダー提供サービスの提案を容易とし、よりよいSaaSサービスをご選択いただけるようにすることを趣旨とします。	ご意見のとおり修正いたします。
78 参考資料7. グループウェアに係る要求要件(案)	1	(3)	基本機能要件	1. 認証機能	「外部からのアクセスの場合はActive DirectoryのID・パスワードによるベーシック認証により認証可能」という部分を「外部からのアクセスの場合はセキュリティ強度を考慮した認証方式により認証可能なこと」という条件に変更いただくことを推奨いたします。	セキュリティ強度を考慮した認証方式を選択することで、SaaSサービス利用時のセキュリティ考慮点であるID・パスワードに関する脅威を低減し、SaaSサービスを安全にご利用いただくことを趣旨とします。	ご意見を参考に一部修正いたします。
79 参考資料7. グループウェアに係る要求要件(案)	1	(3)	基本機能要件	2. システム管理機能 ④運用管理	運用管理について、現状ご利用頂いているソフトウェア名の開示をお願いできますでしょうか。	実施内容のイメージを考察することが難しいためです。	サイボウズ株式会社「サイボウズ ガルーン1.5」の運用管理機能になります。
80 参考資料7. グループウェアに係る要求要件(案)	1	(3)	基本機能要件	3. メンバー選択機能	メンバーを選択するための機能について、実施内容のイメージを考察することが難しく考えます。 具体的な記載に修正をご検討頂けますでしょうか。	実施内容のイメージを考察することが難しいためです。	ご意見を参考に修正いたします。
81 参考資料7. グループウェアに係る要求要件(案)	1	(3)	基本機能要件	9. 在席管理機能	在席管理機能について、現状ご利用頂いているソフトウェアを開示頂けますでしょうか。 また、組織図に基づいた階層は、サーバ側で作成する認識でよろしいでしょうか。クライアント側で必要に応じて作成頂くことは可能でしょうか。	作業要件を明確化するためです。	現行のシステムは、独自開発によるシステムになります。 組織図に基づいた階層は、サーバ側で作成する認識で相違ありません。
82 参考資料7. グループウェアに係る要求要件(案)	2	(3)	基本機能要件	9. 在席管理機能	SaaSサービスにおいて一般的に提供されているステータス管理機能(プレゼンス機能)の多くはインスタントメッセージ機能を有しています。 このような現状を踏まえ、選択肢を増やすためにも、インスタントメッセージ機能を有することを許容いただくことを推奨いたします。	条件を緩和することで、一般的なSaaS型のグループウェアについての選択肢を増やし、費用面を考慮した提案を可能とし、適切なサービスをご選択いただけるようにすることを趣旨とします。	当該機能をSaaSにより提供することを必須要件とはしていません。 メッセージ機能も有していても、システムの利用の制約が可能であれば問題ないものとします。
83 参考資料7. グループウェアに係る要求要件(案)	3	(4)	その他留意事項	①利用者利便性	「ユーザの利便性や費用面を考慮」とありますが、ユーザの利便性と費用面は相反するものであるため、最低限必要な利便性を明記したほうが良いと考えます。	費用面を重視し利便性を軽視した場合、貴所想定の利用方法と異なる提案が行われる可能性が考えられます。	ご意見を参考に一部修正いたします。